

平成 28 年熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

次の発行日は平成 28 年 6 月 2 日（木）です。

◆ 目次

1 現場リポート

- ・石井国土交通大臣、熊本地震の影響を受けた熊本・大分地域を視察
- ・福岡市タクシー協会へ九州運輸局長感謝状を贈呈～中州地区タクシー乗り場の適正化・輸送秩序の確立に貢献～
- ・北九州緊急物資輸送センターが完成～福岡県トラック協会が筑豊、筑後に続き福岡県内 3 箇所目の設置～
- ・長崎港沖で小型船舶に対するパトロールを実施～釣りシーズンを前に小型船舶の安全確保に向けて～
- ・「宮崎みなとまつり 2016」に参加しました～クルーズ客船と内航海運を PR～
- ・地域を支える公共交通の現状と展望～国土交通省 蒲生・公共交通政策部長が「九州運輸コロキアム」で講演～

2 お知らせ

- ・「なるほど！公共交通の勘どころ」を充実した内容に改訂しました～ぜひご活用ください～
- ・「2016 おおむらわん海の駅マリンフェスタ」が開催されます～人気のボート体験乗船できます～
- ・平成 28 年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集中～鉄道や駅、自動車、船や港、観光地の様子などの図画を待っています～

3 平成 28 年熊本地震情報

4 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場リポート

◆石井国土交通大臣、熊本地震の影響を受けた熊本・大分地域を視察

4 月 29 日に熊本地震の被災現場等視察のため熊本入りした石井国土交通大臣は、同日午後、熊本県の観光シンボルである「熊本城」の損壊状況を視察するとともに、観光関係者と、被害の状況や今後の復旧・復興の課題について意見交換を行いました。

意見交換会では、観光業界から熊本城を始めとする観光施設の早期復旧、道路等のインフラの早期復旧、建物等の復旧費用の支援、キャンセルの増加に伴う減収による資金調達問題、従業員の雇用問題等切実な状況の説明がありました。

石井国土交通大臣は、「①熊本城は地域のシンボルであり、早期復旧が必要。公園

は国交省が全面的に支援する。②震災で影響を受けている宿泊業の当面の資金繰りのため、信用保証やつなぎ融資、雇用調整助成金などが重要。本格的な復旧費用の支援のため、関係省庁と連携し、しっかりと対応していく。③時期を踏まえつつ、熊本が復活したとのプロモーションを実施し、風評被害を最小限に抑えるよう、九州全体で取り組んでいく。」と力強く述べられました。

また、5月15日には、熊本県阿蘇市及び大分県由布市の観光地の被害状況を視察しました。阿蘇市においては、阿蘇神社の倒壊現場や震災前は観光客で賑わっていた門前町を、さらに由布市においては、観光客で賑わう由布院駅前の商店街を視察し、商店経営者の方々の被害状況の話に耳を傾け、激励されました。

視察後、阿蘇市では阿蘇市長及び地元観光関係団体及び旅館経営者、由布市では、大分県知事・由布市長・別府市長及び地元観光関係団体と、今後の復興に向けて意見交換を行いました。

出席者からは、国道57号線・JR豊肥線の早期復旧、被災事業者への支援、風評被害対策、観光プロモーションの実施、旅行クーポン券等について要望がなされました。

これに対して石井大臣からは、『九州の観光復興に向けての総合支援プログラム』を早急にとりまとめ、地域の取組を支援していく。具体的には、①応急的対応として、中小企業庁や厚生労働省など関係省庁と連携し、つなぎ融資や施設の当面の復旧のための融資、雇用を守るための支援を行っていく。次に②短期的対応として、今年の夏休みや秋の行楽シーズンなどの多客期に、観光需要をできるだけ取り戻すことが重要。そのため九州の観光地に関する正確な情報発信、世界各国に向けた九州をターゲットとした集中的なプロモーションの実施、更に九州を目的地とする旅行について、宿泊費等を割り引く旅行券の創設。さらに③中長期的な対応として、より魅力的な観光地域としての復興、発展を支援していく。」と述べられました。

九州運輸局においても、国土交通本省、観光庁とともに復興に向けた効果的な施策の展開を実施するとともに、九州7県及び関係機関と連携して、被災地の早期復興に努めて参ります。

石井国土交通大臣の視察の様子は、次のURLからぜひご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_1.pdf

(観光部、熊本運輸支局、大分運輸支局)

◆福岡市タクシー協会へ九州運輸局長感謝状を贈呈

～中州地区タクシー乗り場の適正化・輸送秩序の確立に貢献～

一般社団法人福岡市タクシー協会においては、以前より九州最大の繁華街である中州地区の夜間におけるタクシーによる慢性的な交通渋滞の解消に取り組んでこられたところであり、平成27年3月からは、新たな自主ルールを策定し、違法駐停車対策に取り組み、中州地区のタクシー乗り場の適正化及び輸送秩序の確立に多大な貢献をされました。

〈新たな自主ルール〉

- ・総走行車量規制区間の設定
- ・走行レーンの設定
- ・タクシー乗り場への誘導路線の設定

このことは自動車運送事業に関する顕著な功績であり、九州運輸局では5月10日に開催された同協会の第52回通常総会の場で、同協会に対し九州運輸局長感謝状を贈呈いたしました。

感謝状の交付の様子は次のURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_2.pdf

(自動車交通部 旅客第二課)

◆北九州緊急物資輸送センターが完成

～福岡県トラック協会が筑後、筑豊に続き福岡県内3箇所目の設置～

電気・水道・ガスなどのライフラインが寸断される大規模災害の際には、トラックによる迅速な緊急・救援物資輸送が重要で、その輸送体制の整備が必要であることは、平成7年1月の阪神・淡路大震災、平成16年10月の新潟県中越地震、平成17年3月の福岡県西方沖地震、平成23年3月の東日本大震災、平成24年7月の九州北部豪雨で、関係者一同が認識を深めたところであり、今般の平成28年熊本地震でも被災者支援に大きく寄与しているところです。

そのような中、公益社団法人福岡県トラック協会では、緊急救援物資輸送及び災害対策支援に関する事業を事業目的の一つとして、緊急物資輸送センターを福岡県内に4箇所設置することとされており、平成22年9月には筑後市に、平成25年8月には飯塚市にそれぞれ「筑後緊急物資輸送センター」「筑豊緊急物資輸送センター」が設置されました。そしてこの度北九州市小倉北区西港町に「北九州緊急物資輸送センター」が完成し、昨日5月18日には、関係者による神事、落成式、福岡県トラック協会と北九州市との施設使用協定締結の調印式、ラッピングトラック出発式が執り行われました。

落成式等に参列した関係者は、災害時における緊急物資輸送の拠点かつ地域住民の避難施設でもある大変有効な施設の完成を祝い、だれもが、北九州緊急物資輸送センターが災害対策をより強靱にするものであり、また、福岡県トラック協会と北九州市との施設使用協定の締結が、地域住民の方々の防災意識の向上と北九州地区の防災機能の強化に繋がると期待を寄せていました。

九州運輸局では今後も関係団体や事業者、地方自治体、関係機関等と連携を深め、不測の事態に備え様々な対策を講じていきます。

落成式の模様は次のURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_3.pdf

(自動車交通部 貨物課)

◆長崎港沖で小型船舶に対するパトロールを実施

～釣りシーズンを前に小型船舶の安全確保に向けて～

気候も良くなり、釣りシーズンを直前に控えた5月14日、長崎運輸支局では長崎海上保安部及び長崎小型船安全協会と三機関合同で、海難防止を目的とした海上パトロールを実施しました。これは、小型船舶の安全対策の一環として、毎年3機関合同で実施しているものです。

当日は、運輸支局職員3名、保安部職員9名、安全協会指導員20名にて、保安部巡視艇1隻、安全協会パトロール艇4隻に分かれて乗船し、長崎港沖にて漁業をしている漁船や釣りをしているプレジャーボートに対して、パンフレットの配布等を通じて海難の防止や船舶を運航する際の遵守事項の周知・啓蒙を行いました。

この日は土曜日ということもあり、漁や海洋レジャーを楽しむ船舶も多く、45隻に対して海難防止指導を実施しましたが、乗船者全員が救命胴衣を着用しており、安全意識が高まっていることも確認できました。

今回のパトロールでは新聞社の取材があるなど、小型船の安全に対する関心の高さが感じられ、引き続き小型船の安全対策に力を入れていく必要がある事を感じさせられたところです。

小型船舶に対するパトロールの様子は次のURLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_4.pdf
(長崎運輸支局)

◆「宮崎みなとまつり 2016」に参加しました
～クルーズ客船と内航海運をPR～

宮崎市（宮崎みなとまつり実行委員会）は、ゴールデンウィーク期間中の5月4日に「宮崎港」を市民や県外の皆様に広くPRし、「宮崎港」の利用促進と観光客の誘致につなげることを目的に、宮崎港の国際観光船バースを会場として今年で3回目となる「宮崎みなとまつり 2016」を開催しました。

前日の雨が嘘のような快晴となり、海上保安庁の測量船「明洋」や帆船「みらいへ」の一般公開をはじめ、宮崎カーフェリーの日向灘体験航海の他、「食」と「子ども」を対象とした「おいSea Food」バトルや風船の「バルーンショー」など数多くのイベントが行われ、4万5千人の方が来場されました。

宮崎運輸支局でも、「クルーズ客船」の素晴らしさや「内航海運」の重要性を市民や県外の皆様に知っていただくため「テーマ館」に出展し、クルーズ船（「飛鳥II」、「ぱしふいっくびいなす」、「NIPPON MARU」）のパンフレットや、「内航海運」が果たしている役割を小学生にも理解できるパンフレットや「船のペーパークラフト」等を配布して“船の魅力”をPRしました。

今後も各種イベント開催時に併せて、クルーズ客船の振興や、内航海運の役割をアピールするなど海事思想の普及に努め、次代を担う船員の確保・育成に繋がるよう支援していきます。

※当日の様子は、次のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_5.pdf
(宮崎運輸支局)

◆地域を支える公共交通の現状と展望

～国土交通省 蒲生・公共交通政策部長が「九州運輸コロキウム」で講演～

公益財団法人九州運輸振興センターが平成28年5月9日に福岡市で開催した「第57回九州運輸コロキウム」にて、国土交通省総合政策局 蒲生・公共交通政策部長が「地域を支える公共交通～現状と展望～」と題し講演を行いました。

田中・九州運輸振興センター会長の主催者挨拶、濱田・九州運輸局次長の来賓挨拶に続き、「地域公共交通の現状」「地域公共交通活性化・再生の取組」「地域活性化に資する公共交通」「観光需要を取り込む公共交通」「今後に向けて」の5つのテーマから構成される約90分の講演は、公共交通に携わる地方自治体や交通事業者約120名の参加者の熱気に包まれ、講演後の自由討論でも活発な質問がなされ、参加者の皆さんにとって有意義なものになったのではないのでしょうか。

国土交通省、そして九州運輸局は今後も地方自治体や交通事業者と連携し、地域公共交通の活性化・再生へ積極的に取り組んでいきます。

第 57 回九州運輸コロキアムの概要については、(公財)九州運輸振興センターのホームページをご覧ください。

<http://kyushu-transport.or.jp/news/>

第 57 回九州運輸コロキアムの写真はこちらの URL からどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_6.pdf

(総務部 広報対策官)

2 お知らせ

◆「なるほど！公共交通の勤どころ」を充実した内容に改訂しました
～ぜひご活用ください～

九州運輸局では、先駆者の知恵や法制度・補助制度の活用のしかたをわかりやすく整理した手引書である「なるほど！公共交通の勤どころ」を平成 19、20、23 の各年度に作成・配布し、市町村等の人材育成に努めてきたところです。

この度発行しました改訂版では、地域公共交通の活性化・再生に役立つように、法律改正等を反映させたほか、これまで各地域で行われてきた様々な取組から得られた新たな知見等を盛り込み、たいへん充実した内容になっています。また、初任者向けガイドブックとなる「はじめの一步」も同時に作成しました。こちらは、これから公共交通分野に携わられる方々向けのテキストとなっています。

九州では、中山間地域・離島地域が多く存在し、日常生活における自家用車への過度な依存や過疎地域における急速な少子高齢化、人口減少が進んでいます。バスをはじめとする地域公共交通の利用者は減少しており、地域公共交通に関する課題に対応する必要性が生じています。また、バス交通、デマンド交通、離島航路等、地域のニーズを踏まえた最適な交通手段の確保維持のため、地域が主体となった取組を行うことがこれまで以上に求められています。

地域の関係者が集い、将来に向かって地域公共交通を改善していくときに、本誌が知恵袋のひとつとして、地域において実務を担う方に少しでもお役に立てればと考えております。なお、「勤どころ」及び「はじめの一步」は、九州運輸局ホームページにも掲載していますので、ぜひご一読ください。

◆九州運輸局 HP

◇なるほど！！公共交通の勤どころ 平成 27 年度版（平成 28 年 3 月）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file05/01_kandokoro27.pdf

◇別冊 法制度等資料

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file05/02_kandokoro27-bessatu.pdf

◇概要版

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file05/03_kandokoro27-gaiyou.pdf

◇初任者用ガイドブック

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file05/04_guidebook27.pdf

(交通政策部 交通企画課)

◆「2016 おおむらわん海の駅マリンフェスタ」が開催されます
～海の駅で海をもっと身近に～

「おおむらわん海の駅」では、平成 28 年 5 月 29 日（日）に県西彼杵郡時津町久留里「おおむらわん海の駅特設会場」（ヤマハマリン西九州内）にて、『2016 おおむらわん海の駅マリンフェスタ』を開催します。プレジャーボート体験クルージング（要予約）や水上バイクの浮上展示、AED（自動体外式除細動器）の使用方法的体験などを通じて、多くの人に海の楽しさ、海の安全を伝えることを目的としています。地元の食品、雑貨等を販売するフリーマーケットも 30 店舗が出店予定です。

「おおむらわん海の駅」は、風光明媚な大村湾に位置し、海からの入り口として、また、海へのアクセスポイントとして、豊かな海を生かしたマリンレジャーを地元市民や訪れた観光客に楽しんでもらえる施設です。

長崎運輸支局でも、『2016 おおむらわん海の駅マリンフェスタ』を後援し、海洋レジャーの普及や地域振興に努めています。

詳しくはこちらの URL からどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_7.pdf

（長崎運輸支局）

◆練習帆船「日本丸」北九州港で 5 月 22 日に一般公開！
～21 日にはセイルドリル、23 日には登しょう礼～

独立行政法人海技教育機構の練習帆船「日本丸」が、門司みなと祭に参加するため本日 5 月 19 日に北九州港に入港しました。

停泊中は海事思想普及のため、以下のとおり各種イベントが予定されており、多くの方々に「太平洋の白鳥」と称される日本丸を見学いただき、船や海運のことに理解と関心を深め、船の学校や船員を目指す子供たちが増えることを期待しています。

【日本丸イベント予定】

※天候等により、予定が変更となる場合があります。

場所：門司区西海岸 1 号岸壁

5 月 19 日（木）10：00 入港 13：00～ 歓迎式典（同岸壁）

5 月 21 日（土）13：00～セイルドリル（展帆訓練）

5 月 22 日（日）09：00～船内一般公開（09：00～11：00、13：00～15：30）

5 月 23 日（月）11：00 出港（登しょう礼） 神戸港向け

イベントの詳細は、「門司みなと祭」のサイトでご確認ください。

<http://www.kitakyushucci.or.jp/mojiminato/>

（海事振興部）

◆平成 28 年度「国土と交通に関する図画コンクール」作品募集中
～鉄道や駅、自動車、船や港、観光地の様子などの図画を待っています～

国土交通省では、人々の生き生きとした暮らしを支え、安全・安心で豊かな経済社会を実現するための国土交通省の様々な取組について、明日を担う子供たちに理解を深めていただくきっかけとなることを期待し、毎年度、小学生を対象とした「国

土と交通に関する図画コンクール」を実施しており、平成 28 年度も作品を募集しています。

詳しくは次の URL をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/page/h28zugacon_boshu.html

(総務部 広報対策官)

3 平成 28 年熊本地震情報

◆「被災者の皆様への暮らし関連情報」を国土交通省ホームページに掲載しています

国土交通省ではホームページに「平成 28 年熊本地震関連情報」コーナーを設け、「被災者の皆様への暮らし関連情報」には被災地にお住まいの方々に必要な情報を掲示しています。また、観光庁や九州運輸局のホームページでも情報を掲示しています。どうぞ次の URL からご覧ください。

【国土交通省】

◇被災者の皆さまへの暮らし関連情報

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004710.html

4 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //

5 月 16 日に奄美地方が梅雨入りした模様との発表がありました。奄美自動車検査登録事務所から地元で梅雨の花と言われる「イジュ」の花の写真が送られてきました。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_332_8.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
